

**平成26年度  
公益財団法人丹後地域地場産業振興センター事業報告**

**総括的概要**

平成26年度は、4月からの消費税率引き上げの反動減が長引くとともに、地方の人口流出が大きな問題となりました。

丹後地域においては、消費増税率引き上げによる反動減が顕著であるとともに、各企業においては労働人口の流出により、特に非正規社員の雇用がままならない状況で経営にも大きな問題となっています。

このような厳しい経済・経営環境の中において、当センターの展示即売室も入り込み客の減少、販売額の減少が大きな課題となっています。

26年度においては、これら喫緊の課題を克服するため、地域の加工品・農産物等を首都圏を中心とする直売チェーン店で販売するとともに、27年度に向け新たなビジネスモデル構築に奔走した1年でした。

以下、本年度の事業内容をご報告いたします。

**I 新商品・新技術開発事業（公益目的事業1）**

1 地域ものづくり支援事業

丹後・食の王国ビジネス連携推進会議運營業務を受託し、京丹後産茶のティーパック化に係る企画・運営支援を実施しました。

また、企業からの商品企画、商品パッケージング、商品表示ラベルの表示方法等の相談を受け、商品開発、販路開拓の支援事業を実施しました。

**II 人材育成事業（公益目的事業1）**

1 京丹後市地域産業人材育成事業

失業者を新規に雇用し育成することを目的に、上記人材育成事業を受託し地域産業人材の育成を実施しました。

失業者延べ5名を雇用し、農産物を中心とした地場産品の販路開拓や民間企業での中心的人物となりうる人材の育成を実施しました。

また、座学研修では地域の失業者、起業を考えておられる方々にも受講していただきました。

(1) 座学研修

会計管理講座、ビジネスマナー&目標設定・達成のための講座、販売戦略&VMD講座、労務管理講座、ECサイト運営講座の5

講座を設定し、雇用者以外の市民にも広く呼びかけ人材育成講座を実施しました。

(2) 販売実習等

雇用者の実務、渉外、販路開拓力の向上を目的として、常設店舗「愛菜館」での対面販売によるスキル強化、イベント等への出張販売、バイヤーとの商談・商談会への参加、先進地視察等を積極的に行いました。

(3) 生産者開拓実習

丹後地域内の生産者を回り、新たな販路の提供を通じ取引開拓を実施しました。

(4) 就業支援の状況

雇用5名の内、2名は独自に就職し、3名については身につけたスキルを活かし平成27年2月に設立された株式会社丹後王国で、農産物を中心とした集出荷、販売、取引先の開拓などの業務を行うこととなり同社に就業しました。

2 地場産業の体験講座開催

研究開発棟を活用し、染色技術の習得による製品化を念頭に網野染色研究会茜の会員を対象とし年間を通じ染色技術の指導を実施した。

また、スキルを身につけた会員による観光客等を対象とした染色体験を随時実施し321人を受け入れしました。

地域の地場産業である着物の着用機会の増進を目指し、一人でも着用できる着物着付教室を京丹後市職業訓練校と共催で実施し、13名の指導を行いました。

### Ⅲ 需要開拓事業（公益目的事業1）

1 丹後ブランド商品認定事業

(1) T a n g o G o o d G o o d s 認定事業

事業開始以来16年目を迎えるT a n g o G o o d G o o d s 認定事業を実施し、製造者の「ものづくり」を奨励・支援し、販路開拓の意欲高揚を図るとともに、丹後ブランド商品のコンセプト確立とそれに基づくブランドイメージの定着化を図り、流通及び需要の拡大・開拓を推進しました。毎年改正される商品表示法については最新の状況を審査基準として採用し、認定品としてのコンプライアンスの指導を行い、アレルギー表示の他、着色料・保存料等の表記についても製造者の意識を高め、T a n g o G o o d G o o d s としての質的向上を図りました。また、認定

品へのTango Good Goodsロゴシール貼付指導を推進し、地域ブランド商品としての差別化を図りました。

ア 認定状況

(ア) 申請状況

申請者数50業者、申請商品数99点

(イ) 認定状況

認定者数50業者 認定点数96点

通算（平成24年度～26年度）認定者数92業者、認定点数279点

(ウ) 優秀産品表彰

優秀産品表彰制度は、認定品の中で特に優秀と認められるものを選定・表彰する制度で、本年度は6点が表彰されました。また、本年度から優秀産品を示すロゴシールを作成し、配布を実施しました。

イ Tango Good Goods 認定推進委員会開催

認定事業実施においては、認定推進委員会委員10名に就任いただき認定について協議いただきました。

(ア) 第1回Tango Good Goods 認定推進委員会  
平成26年5月13日 午後2時開催

(イ) 第2回Tango Good Goods 認定推進委員会  
平成26年6月27日 午前10時30分開催

(ウ) 平成26年度Tango Good Goods 審査会  
審査員として専門家（デザイナー、食品アドバイザー、マーケティングアドバイザー）3名を委嘱し、審査会を開催しました。

審査会日時 平成26年6月25日・26日

審査終了後に全体講評及び商品個別相談を実施

ウ Tango Good Goods 認定品カタログの作成（B toB用）及びバイヤーへの配布

平成26年度認定品を掲載したカタログを作成し、見本市等でバイヤーへ配布しました。作成部数1,000部

(2) 第16回Tango Good Goods 見本市の開催

第16回目となる丹後ブランド産品見本市を京都丹後ブランド産品会との共催により、宮津市民体育館において開催し、丹後ブランド認定商品を中心とした地場産品の地域内PR及び流通促進を図りました。

2 商談会出展事業

一般財団法人丹後地域産業振興基金協会の丹後産地活性化推進事業

助成金を活用し、丹後製品の全国流通を目指して国内最大のトレードショー「第79回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2015」ヘルスケアブースに出展し、地域の魅力を基本としたVMDによりバイヤーとの商談を展開しました。

### 3 京都丹後ブランド製品会の支援及び地域特産品販路開拓事業

Tango Good Goods 認定事業者のなかで地域外へも、その販路を開拓する意欲のある事業者で発足した「京都丹後ブランド製品会」の活動を支援し、新商品開発及び商品改良指導、販路開拓等の事業を実施しました。

#### (1) 主な事業

- ア 都市部での丹後のええもんうまいもん展の開催
  - イ 展示即売会等の開催情報の提供
  - ウ 中元カタログ及び歳暮カタログの作成配布
  - エ ECサイトの運営
- URL <http://tango.jibasan-shop.jp/>

### 4 ICT人材育成・活用による丹後産品集積活性化事業

平成22年度に整備した集出荷システムを活用し、丹後・食の王国共同連携集出荷サポート事業費補助金の交付を受け、愛菜館（丹後あじわいの郷内）を共同集出荷場として活用し丹後産品の集積と販売流通開拓を実施しました。

主な出荷先としては、日本最大の農産物直売チェーンのわくわく広場（株式会社タカヨシ運営）に商品を供給しており、26年度は関西圏・中部圏で新たに3店舗に丹後産品を供給するルートを確保しました。

### 5 展示ギャラリー活用事業

地域でものづくりに励む、企業、団体、個人等の作品発表の場として、1階展示ギャラリーを提供するとともに、センター及びセンター出展者会による情報発信の場として活用しました。

### 6 丹後・食の王国ビジネス連携推進会議

丹後地域の農産物や加工品の市場評価を高めるとともに、新たな商品の開発や販路の拡大を関係者との連携により推進するため設置された丹後・食の王国ビジネス連携推進会議の運營業務を受託し、丹後の

たからもの展等の事業を実施しました。

#### **Ⅳ 情報収集・提供事業（公益目的事業1）**

##### **1 展示即売室即売動向情報収集分析提供事業**

展示即売室における日々の顧客、商品、販売情報の収集に取り組み、販売データを分析、加工し新商品の開発、改良の基礎資料としてもらうため出展者へ毎月アミティ情報を発行しました。

消費者の購買動向、生の声を伝えることにより出展者の経営基盤強化及びセンターとの意思疎通を図ることができました。

##### **2 センターホームページによる地域資源発信事業**

地域生産者、消費者が手軽に利用できタイムリーな情報を提供することを心がけ地域情報、センター情報、産品情報、広報等をセンターのホームページとして発信するとともに、消費者が直接丹後産品を購入できるECサイトを運営しました。

また、アミティ丹後及びホッと丹後のブログを引き続き運営し、身近な情報を提供することで、地域及びショップへの誘客を図りました。

##### **3 京丹後市ブランドビジネス発信情報収集業務受託事業**

京丹後市からの委託事業として、「自治体特選ストア京丹後」を運営し、年間を通じ6業者10品目を掲載しました。

#### **Ⅴ 地場産品展示普及支援事業（公益目的事業1）**

##### **1 地場産品常設展示**

当センターの重要な機能及び事業の柱の一つである地場産品のPRを目的とする常設展示即売事業は、地域産品の総合展示場として「丹後ちりめん」をはじめ192業者の地場産品約2200品目に及ぶ製品を展示しており、来館者の注目も高く、観光関連業者からのご案内も数多くいただいています。

地域の観光資源としての機能強化を図るとともに、丹後を訪れる観光客をはじめ地域内外へも取扱品情報を発信するなど幅広く宣伝・啓発し、販路開拓とともに消費者ニーズの把握による需要拡大に努めました。

店舗における購買動向を分析することで、出展者の商品開発、改良に

寄与するほか、センター事業の企画立案の基礎となっています。

また、店舗における商品の見せ方を工夫することで、商品の特徴、魅力をアピールするVMDに努め、出展者の商品の魅力発信力を強化するとともにバイヤーへのVMDを含めた商品提案を行いました。

## 2 丹後産品情報発信事業

消費者向けカタログ（中元・歳暮の2種）の作成配布、ECサイトの運営を行い、丹後産品を全国に向け広く周知しました。

## Ⅵ 丹後ブランドチャレンジショップ運営事業（公益目的事業1）

### 1 丹後ブランドチャレンジショップ運営事業

大都市圏での丹後情報の発信、地場産品PRを推進することを目的とし、宮津市、京丹後市、与謝野町との連携により各市町の特産品及び地域PR、サテライト販売、生産者直売など多角的に展開し、都市部でのデータを収集するチャレンジショップ及びアンテナショップとして活用・展開しました。

## Ⅶ 会館提供・コミュニティー事業（収益事業1）

### 1 会場提供事業

センター2階施設を地域住民、企業、団体等の会議、研修会、展示会等に貸し出すとともに地域コミュニティーの場として地域活性化の一助としました。

## Ⅷ 誘客販売事業（収益事業2）

### 1 販売事業

来館者等の利便に資するため土産品としてキーホルダー等の販売を行いました

### 2 たんご朝市の開催

たんご朝市は、開設14年を迎え、地域住民・観光客等から好評を得ており朝市出展者会の協力の下、本年度も引き続き朝市を毎日曜日開催しました。

- (1) たんご朝市春の感謝祭 4月27日開催  
アミティ丹後出展者会との共催
- (2) たんご朝市秋の感謝祭 11月2日開催  
アミティ丹後出展者会との共催

## Ⅸ 管理事業

### 1 理事会の開催

開催日	主な審議内容
平成26年5月26日	○平成25年度事業報告・収支決算について ○第4回評議員会の開催について
平成26年6月27日	理事長及び専務理事の選定について
平成27年3月26日	○平成27年度事業計画・予算について ○センター使用規程の改定について ○有期契約職員就業規則の改定について

### 2 評議員会の開催

開催日	主な審議内容
平成26年6月6日	○平成25年度貸借対照表、損益計算書について ○理事及び監事の選任について ○評議員の選任について

### 3 監査会

開催日	内容
平成26年5月15日	○平成25年度事業・決算監査